

衆議院議員

神奈川5区 <戸塚・泉・瀬谷区>



維新の党

水戸まさし

KICK OFF通信


責任の持てる政治を!



原発の再稼働を問う!

◆福島事故から4年半

去る8月11日、川内(せんだい)原子力発電所1号機が再稼働しました。原子力規制委員会の田中委員長いわく、「福島と同様な事故が起きないよう万全の対策を講じ、適正に審査した。一定以上の安全レベルは確保されている」と。

ところが、避難計画に基づく住民の避難訓練は、まだ実施されておらず、またその避難を担う人たち(自治体職員やバス運転手など)の被ばく線量を抑える策も不十分です。さらに、鹿児島は桜島はじめ多くの火山が点在する場所ですので、噴火の危険性は付きまといまふ。万が一の場合には、原子炉から燃料を運び出さねばなりません、その判断基準や搬送先も決まっておられません。

◆原発に対する様々な見解

そもそも原発に対する見方は十人十色でしょう。確かに、原発が完全停止したことで、9割近くを火力発電に頼らざるを得なくなり、輸入燃料代が2倍になって、電力料金は家庭向けが25%、企業向けが38%も上がりました。

二酸化炭素の排出量が大幅に増えたことからしても、電力の安定供給と料金抑制、温暖化対策を同時に進める上で、原発は重要な手

段と見なされております。他方、再生可能エネルギーは、国民負担との関係で、思うように普及できない現状です。

しかし、こうした近視眼的な見方を否定しないまでも、やはり将来を見据えて原発と放射性廃棄物のあり方を問い続けなければならないと思います。

◆維新の党・独自のアプローチ策

端的に申し上げます、我が党は従来通りの原発推進を全面的に見直すことを主張します。何故なら、電力自由化による対等で公平なコスト競争をした場合には、原発はコスト高となり退出を余儀なくされるからです。

したがって当面、再稼働にも厳格な条件付けを法的に位置づけながら、①国・地方・事業者の権限と責任の明確化、②地域防災計画の強化と国の関与、③放射性廃棄物の最終処分プロセス見直し等を定め、これらを満たさない限り再稼働は認めないルールを策定しました。

今回の川内原発の再稼働も、こうした前提条件をクリアしていないので、否定的な態度を取らざるを得ません。政府はが、安全確保よりも経済論理を優先しているという批判と懸念にどう応えていくのでしょうか。まさに、政府自ら、再稼働の決定プロセスとその責任所在を明確にして、真摯に安全対策に取り組まなければならないことを、私たちは求めていく所存です。

水戸まさしのプロフィール

昭和37年	7月28日生まれ 神奈川県立湘南高校・慶應義塾大学卒業後、サラリーマン生活を経て代議士秘書に
平成 4年	「税は政治なり」との思いで始めた税理士試験に合格(平成10年に開業登録)
平成 7年	県議会議員初当選～平成19年まで連続3期
平成19年	第21回 参議院議員選挙 当選 予算委員会・財政金融委員会・ODA特別委員会理事
平成26年	第47回 衆議院議員選挙 当選 総務委員会理事 維新の党・国家政策部会長 維新の党・税制調査会事務局長 etc
<血液型>	○型
<好 物>	<趣味> マラソン、水泳、サッカー、映画鑑賞 <尊敬する人> 西郷隆盛